

2019強化計画の概要(抜粋)

2018年12月選手強化委員会

◇2019年のナショナルチーム

- ・世界ランク、オリンピックスタンディング50位内(2019年1月1日時点)
- ・2019年1月から始動(12月まで)

◇2019年プレミアリーグ

- ・組手・・・オリンピックスタンディング、世界ランク10位内を派遣
- ・形・・・オリンピックスタンディング10位内3人までを派遣
(同上に3人いない場合は世界ランク10位内上位から派遣)

※上記以外の選手は原則自費参加

※フェーズ3のエントリーは世界ランキング100位内を認める
(ナショナルチーム外でも)

※男女団体形は自由エントリー(ナショナルチーム外でも)

◇2019年シリーズA

- ・2018年同様、ナショナルチーム内外とも自由エントリー
- ・男女団体形は自由エントリー(ナショナルチーム外でも)

◇2019年アジア大会(7月19日～21日ベトナム)選手派遣

- ・4月19日～21日のプレミアリーグラバト大会終了時点でポイント計算を強化委員会で
行い、組手は世界ランキング、形はオリンピックスタンディング、各トップ選手と下位(2
番手)の選手に1000点差がある場合はトップ選手をアジア大会代表とする。1000点
差がない場合は、1000点差以内の選手を候補選手としてプレミアリーグ上海大会メ
ダル(6月7日～9日)獲得上位者をアジア大会代表とする。同上海大会でメダル獲得
がない場合は、6月時点でのラン
キング上位者をアジア大会代表とする。

◇上記考え方、ルールで、2019年9月に開催の東京プレミアリーグ終了後、10月1日時点
でオリンピックスタンディングトップ選手と2番手の選手の点差が2000点(オリンピックスタン
ディング)以上の場合、トップ選手を集中強化指定選手(下記参照)選定する。

◇2019年12月1日のプレミアリーグ(最終戦マドリッド)終了後、2020年1月1日のオリンピ
ックスタンディングにより代表候補(仮称)各オリンピック階級原則2名(集中強化指定選
手)を選定する。2020年1月からは絞り込んだ同選手から、本大会まで集中強化・コンデ
ション調整をしていく

※集中強化期間は、オリンピック代表選手決定まで(2020年1月～4月6日)のプレミア
リーグ、シリーズAの選手派遣は、集中強化指定選手のみとする。

※日本は公平公正(オリンピックスタンディングや世界ランクをもとに)に競わせ、絞り込み
を行い(集中強化する選手の早期決定)、できるだけ選手が疲弊せず、最高のコンデ
ションで大会を迎えたい

- ・ 2019年度強化計画は(公財)全日本空手道連盟ホームページに公開(年内) ・